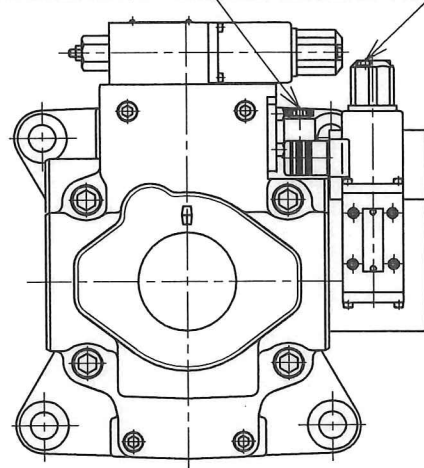


管フランジキット

1. 管フランジ取付け面は SAE J 518 4ボルト スプリットフランジに準拠します。
2. ポンプには管フランジキットが付属されておきませんので、ご使用の際には下記によりご注文ください。

対応するポート	呼び口径	ねじ込み形管フランジ	溶接形管フランジ
吸込みポート S	2	F5-16-A-10	F5-16- $\frac{B}{C}$ -10
吐出しポート P1	1 1/4	F5-10-A-10	F5-10-C-10

"SOL1"ケーブル取出口
適用ケーブル外径
φ8~φ10

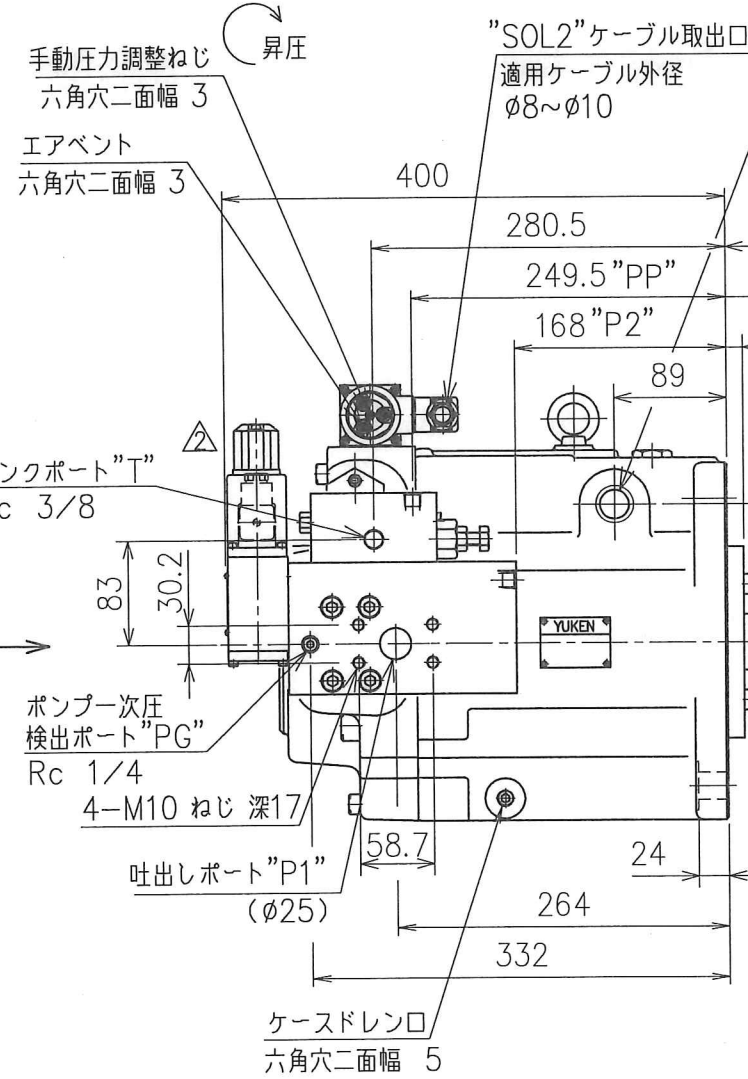
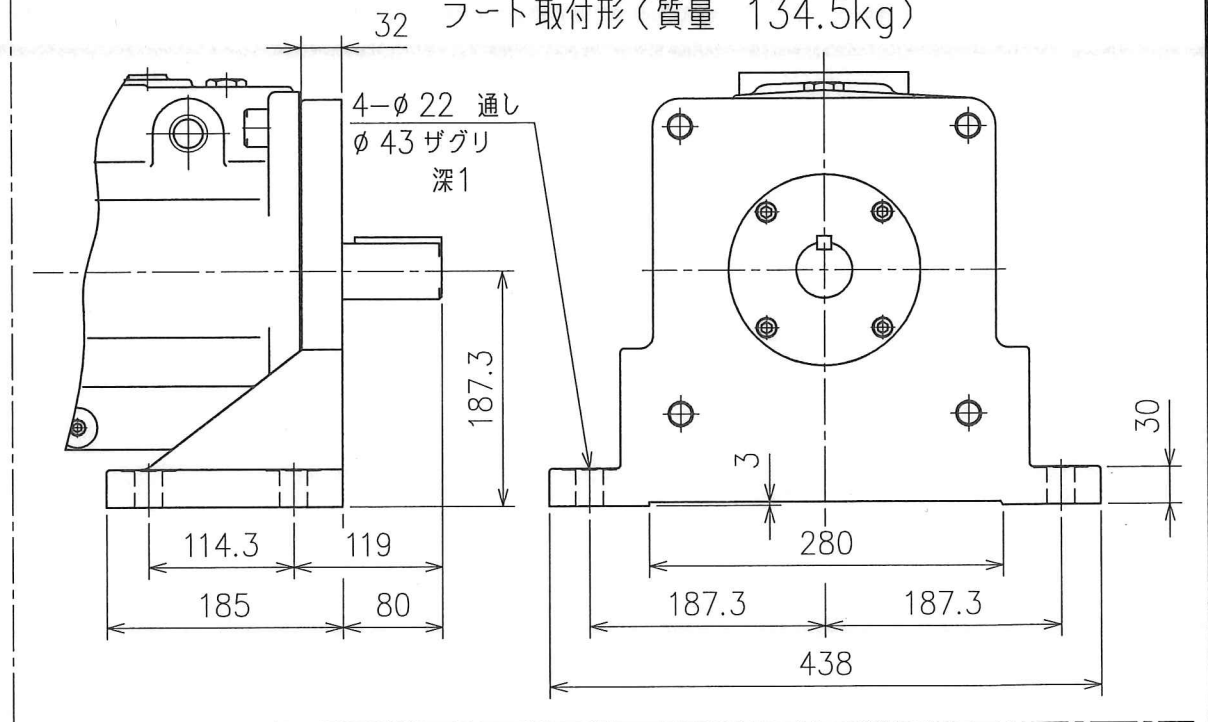


エアVENT
六角穴二面幅 3

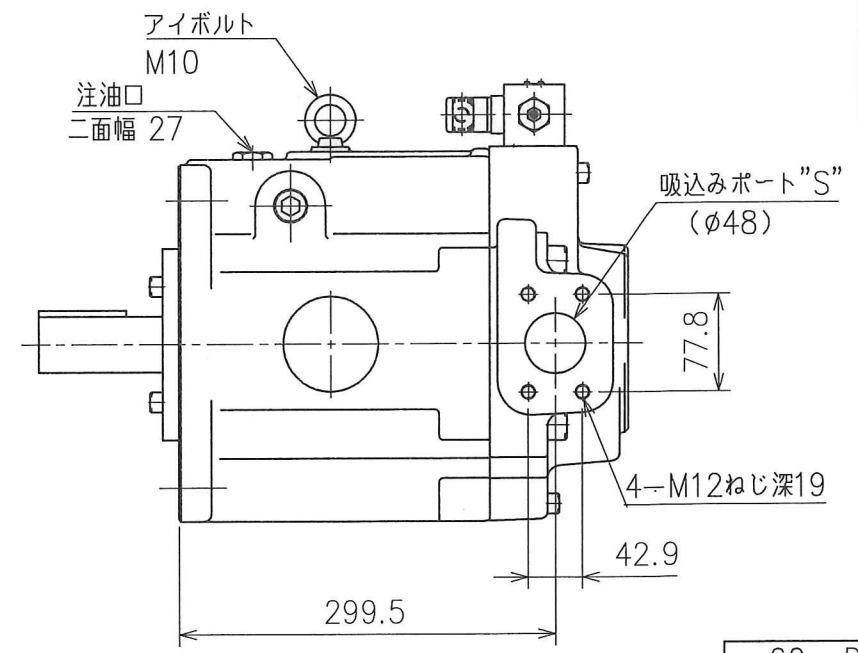
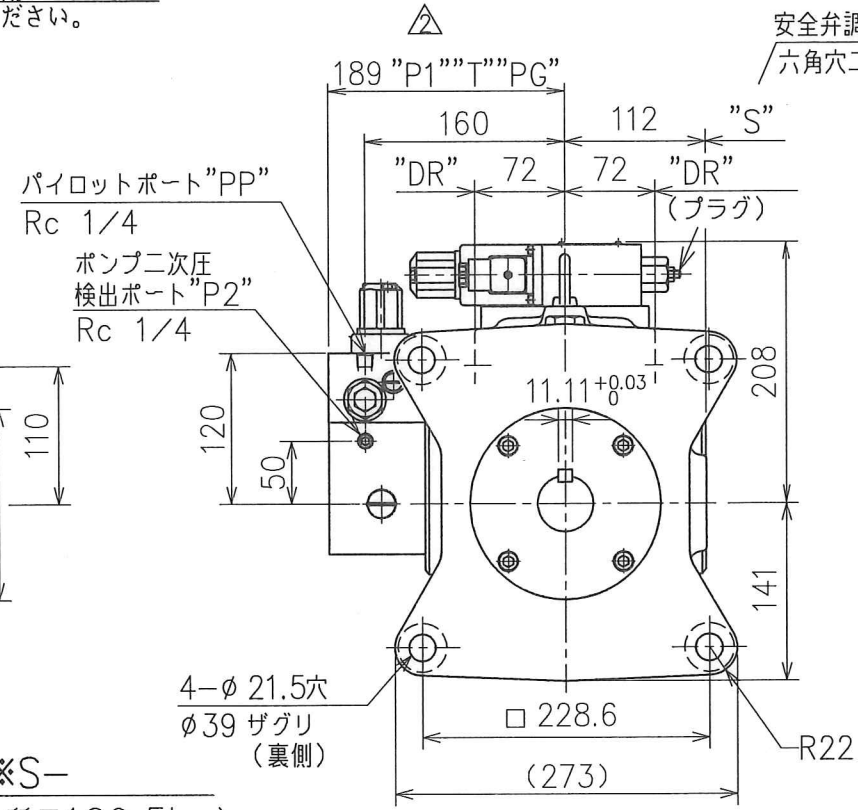
△ 矢視 X

A145-LR04※S-

フート取付形 (質量 134.5kg)



A145-FR04※S-
フランジ取付形 (質量109.5kg)

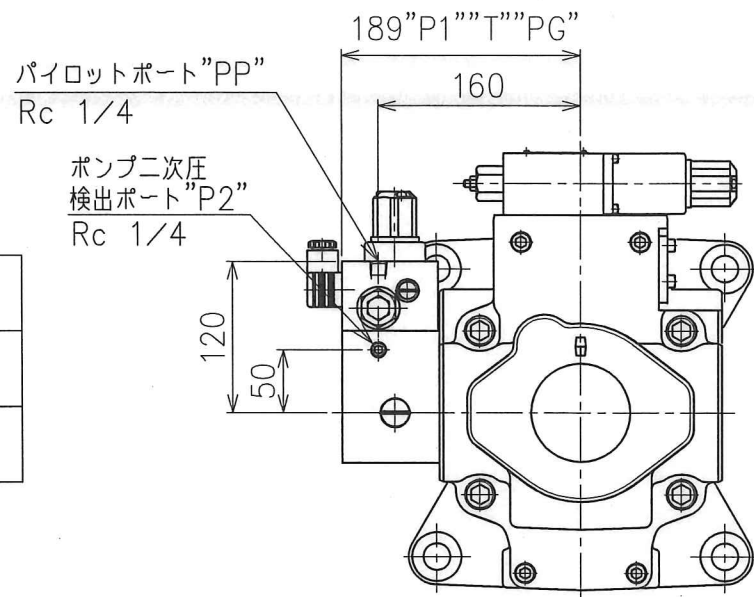


安田 10/7 安田 2/14 P05-059 P04-006 X1 SYM REVISIONS	DATE	'98-6-2	DRAWN	大谷	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO. A145-※R04※S-60 NAME A145形 可変ピストンポンプ 比例電磁式 ロードセンシング制御 DWG NO. PA314168-6-2 △(1/4)
	APPROVED	橋本	CHECKED	高橋	
	FILE NO.	1312D		THIRD ANGLE PROJECTION	
	REVISIONS				

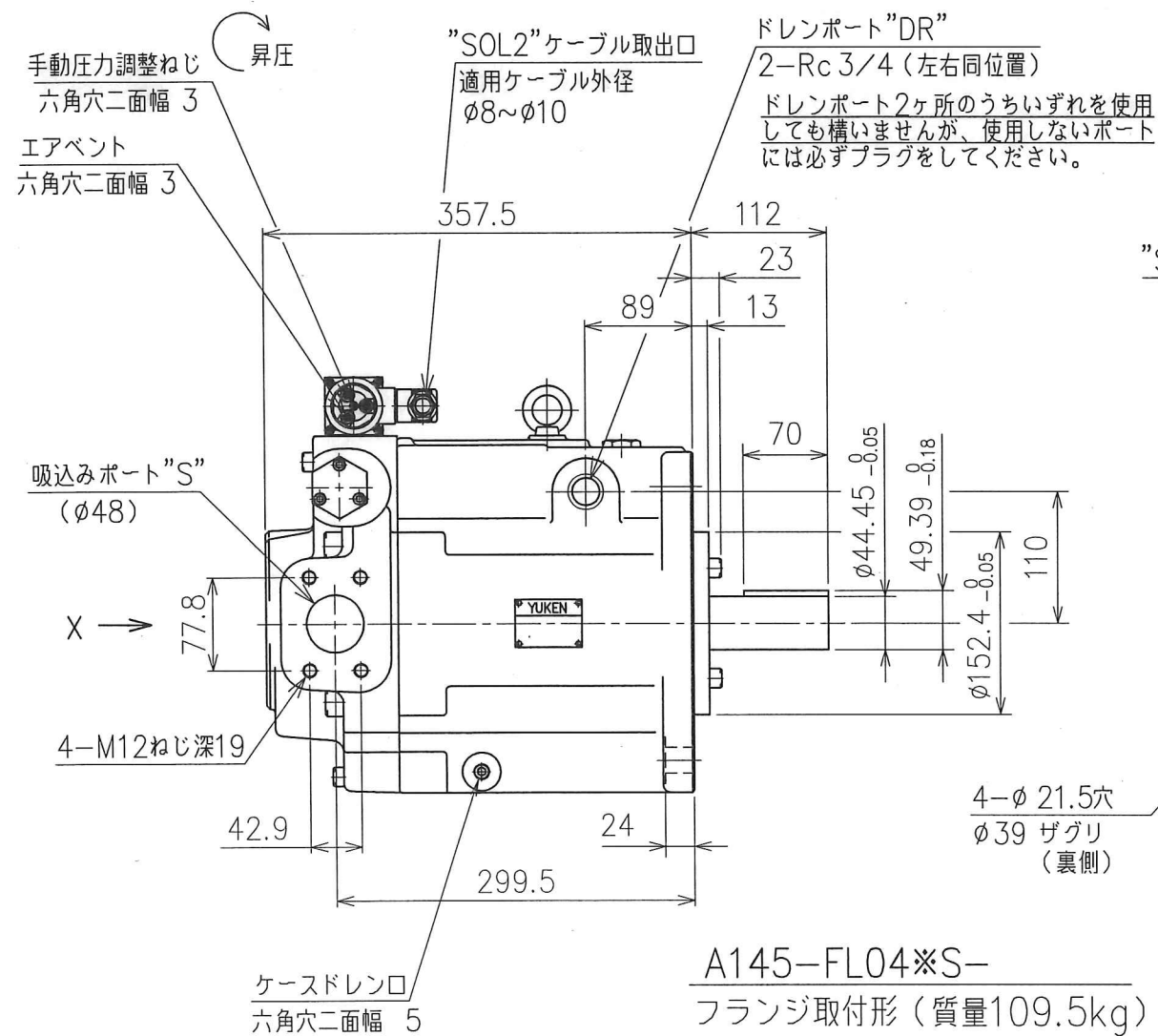
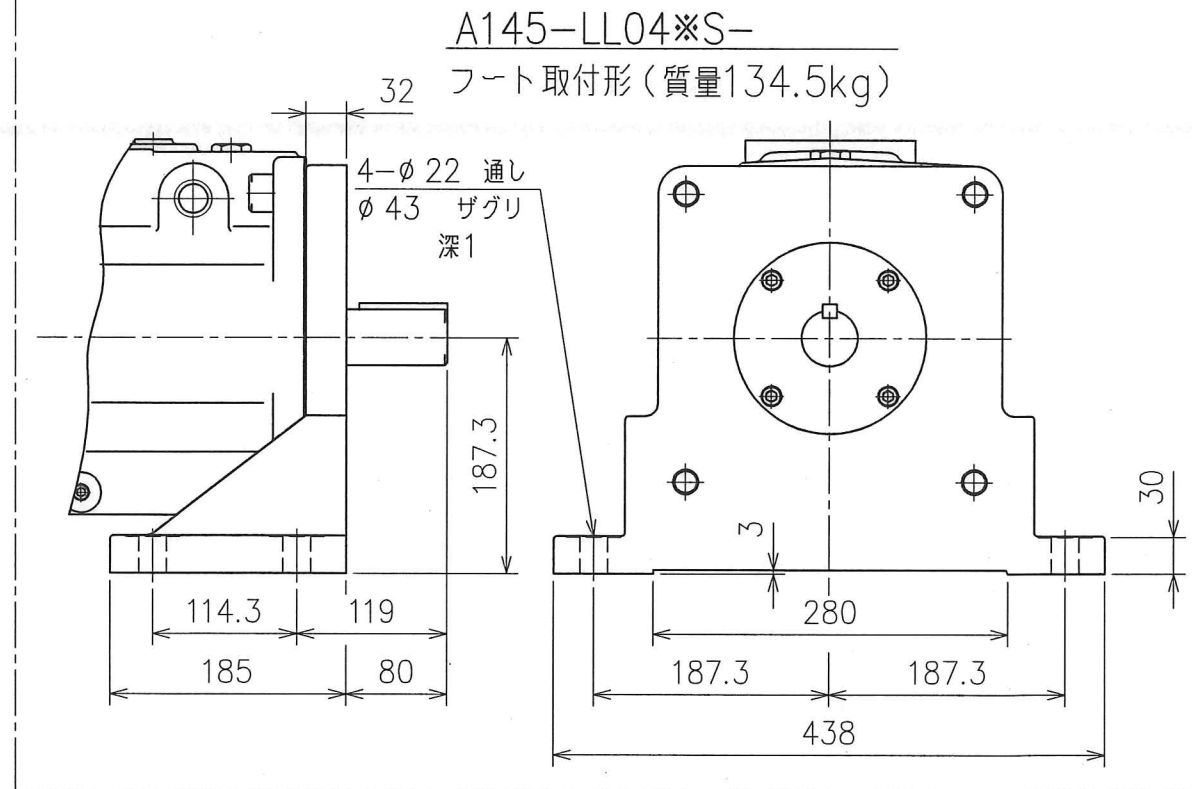
管フランジキット

1. 管フランジ取付け面は SAE J 518 4ボルト スプリットフランジに準拠します。
2. ポンプには管フランジキットが付属されて ありませんので、ご使用の際には下記により ご注文ください。

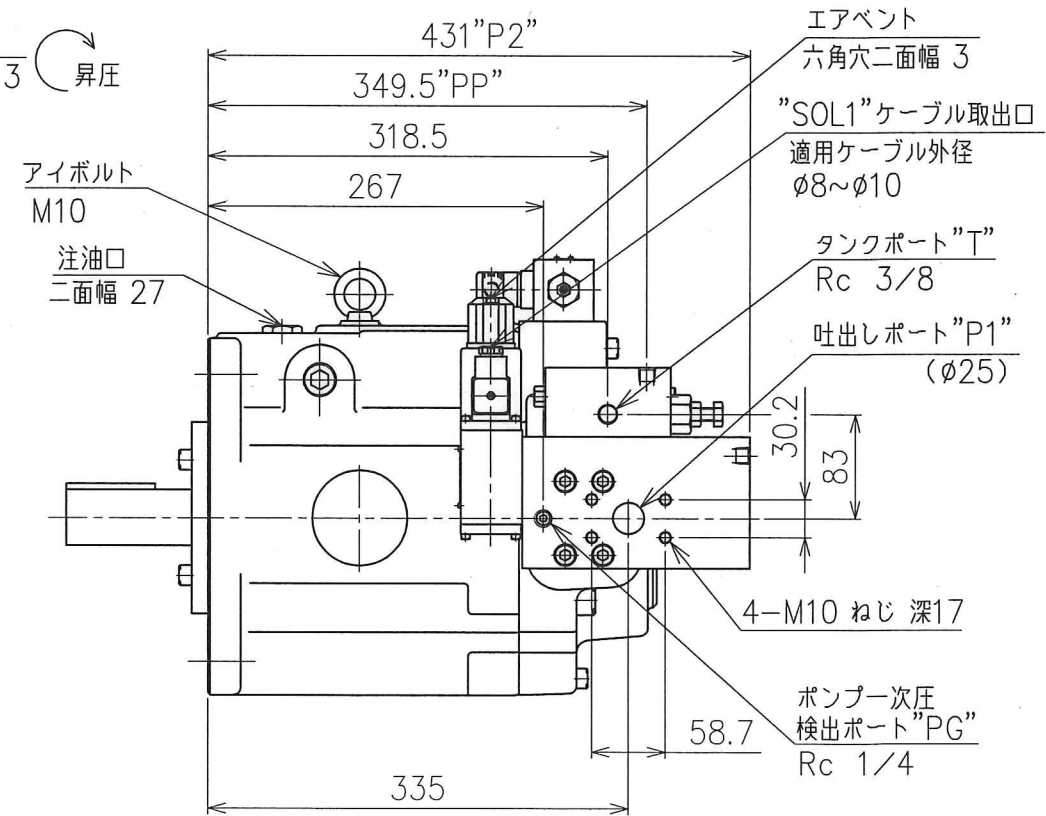
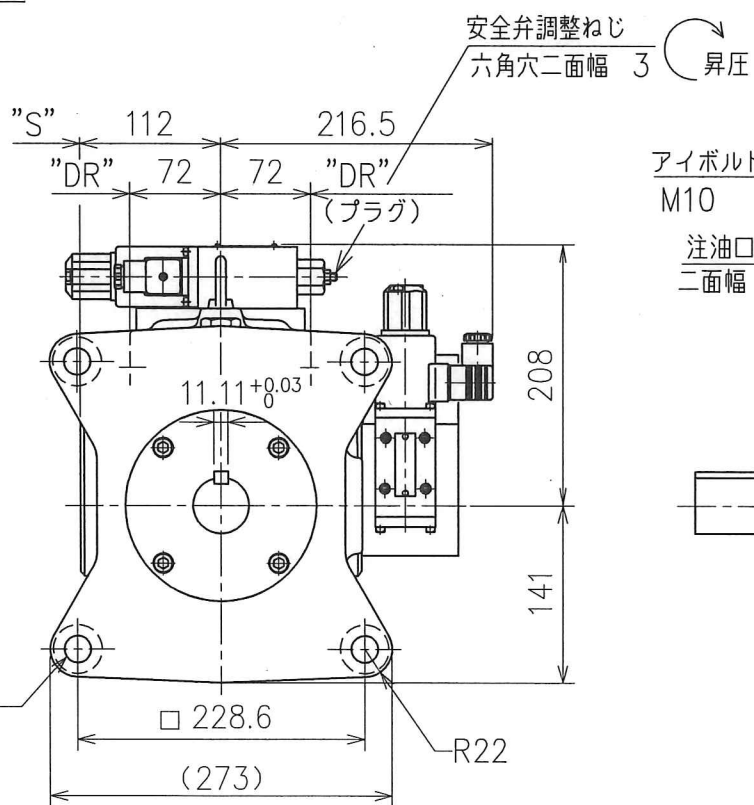
対応するポート	呼び口径	ねじ込み形 管フランジ	溶接形 管フランジ
吸込みポート S	2	F5-16-A-10	F5-16-B-C-10
吐出しポート P1	1 1/4	F5-10-A-10	F5-10-C-10



矢視 X



A145-FL04*S-
フランジ取付形 (質量109.5kg)



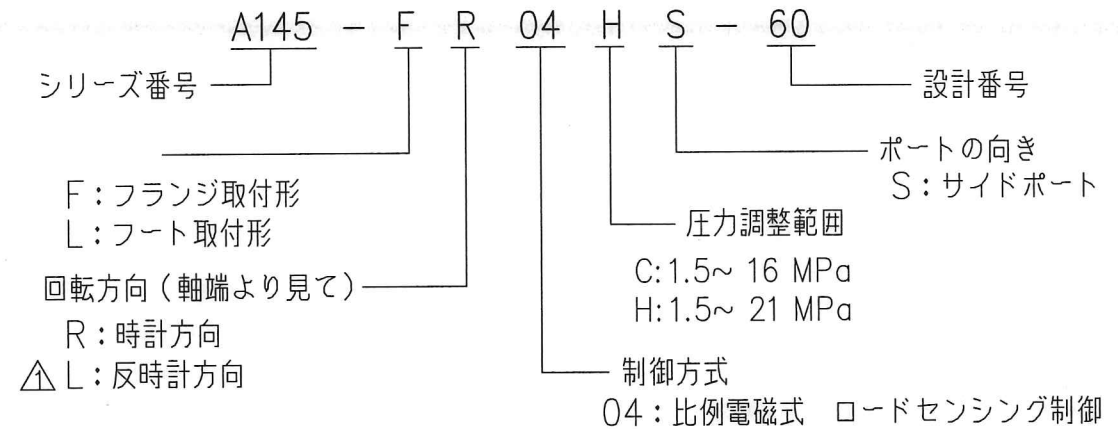
60 D

SYM REVISIONS DATE SIGN	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	APPROVED	CHECKED	
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		NAME A145形 可変ピストンポンプ 比例電磁式 ロードセンシング制御
	FILE NO. 1312D	DWG NO. PA314168-6-0	(2/4)

使用上の注意

- ポンプは注油口の位置が上になるように据付けてください。
軸接続の際はフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。（直接歯車やベルトで駆動しないでください。）なお、駆動軸とのズレが TIR: 0.1 mm, 角度誤差 0.2° を越えないようにしてください。
- 吸込み圧力はポンプ入口にて-16.7kPa~+50kPaにしてください。
- 鋼管配管の場合、配管によりポンプに無理な力がかからないように注意してください
- ドレン配管は下記を目安にして、他の戻りラインと合流せずに単独で行ない、端末を必ず油中に入れてください。
配管継手サイズ R 3/4
（内径16 以上）
配管内径 19 以上
配管長さ 1 m以下
上記条件を満足しない場合でもハウジング内圧力が定常状態圧力0.1MPaかつサージ圧力0.5MPa以下になるようにしてください。
- 作動油の汚染管理には十分注意を払い、汚染度は NAS 10級以内にしてください。
なお、吸込みラインには 100ミクロン（150 メッシュ）のフィルタを、吐出しラインまたは戻りラインには 10ミクロン以下のフィルタをご使用ください。
- ポンプ初期運転前には必ず注油口から油圧油をハウジング内に充填してください。
なお、運転開始時には吐出しラインを無負荷にしてポンプを始動し、正常に油を吸込むことを確認してください。
始動時または長時間休止後に運転を行う場合に、吸込みにくいことがあります。この場合は、吐出側にて空気抜きを行うか、または空気抜き弁（モデル番号: ST1004-※-10）を設けてください。
- ポンプ内部および管路内に空気が混入していると振動発生の原因になりますので、空気抜きは完全に行なってください。
安定した圧力・流量制御を行うために、エアVENTを緩めて空気抜きを行いソレノイドカバー内に油を満たしてください。
- ポンプを油面より上部に設置する場合は、吸込みラインの空気だまりを防止するため、吸込み配管およびサクシオンラインフィルタはポンプのポートより高くしないでください。
なお、吸込み側の配管は適合する管フランジの口径そのものを使用し、吸込みポートの高さは油面から1m以内にしてください。
- "SOL1" "SOL2" の各ケーブル取り出し口の向きは変えることができます。
詳しくは「Eシリーズカタログ」を参照してください。
- 初期調整または電氣的故障など弁に流入電流がない場合には、手動調整ねじを回すことにより臨時に圧力を設定することができます。（手動調整ねじにより、吐出し量を任意に設定することはできません）通常の場合は必ず手動調整ねじを完全に戻してください。

モデル番号の構成



定格

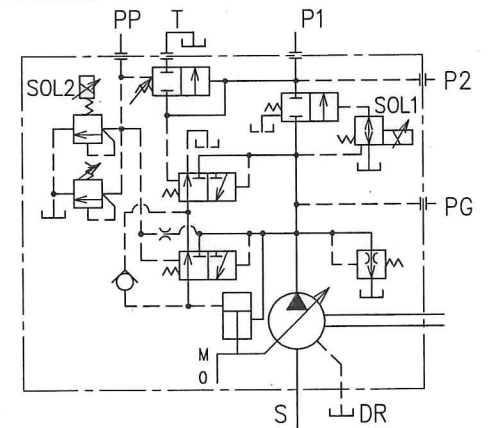
理論押しおけ容積	145 cm ³ /rev
最高使用圧力	21 MPa
定格圧力	21 MPa
回転速度範囲	600~1800 r/min

使用油 ISO VG 32 または 46 相当の石油系作動油

粘度範囲 20~400mm²/s

油温範囲 0~60 °C
ただし、上記 粘度範囲にご注意ください。

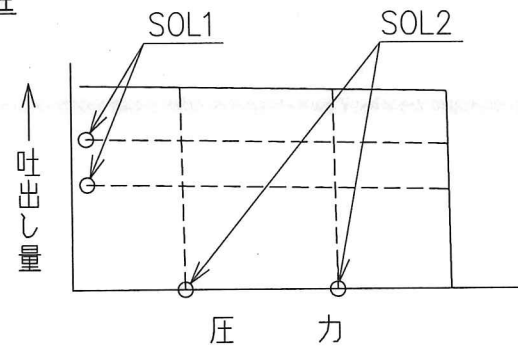
油圧図記号



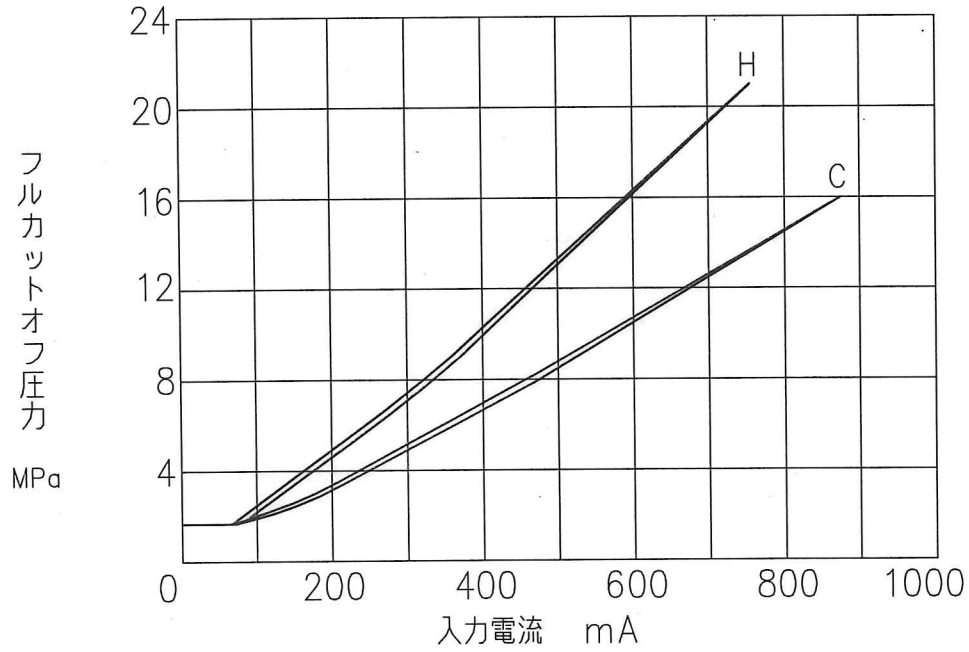
60 D

安田 2/14 006 P04-006 A X 2 SYM	SIGN	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.	
	REVISIONS	DATE	CHECKED		
	DATE	APPROVED	THIRD ANGLE PROJECTION	NAME	
	FILE NO.	1312D	DWG NO.	PA314168-6-1	△(3/4)

作動特性

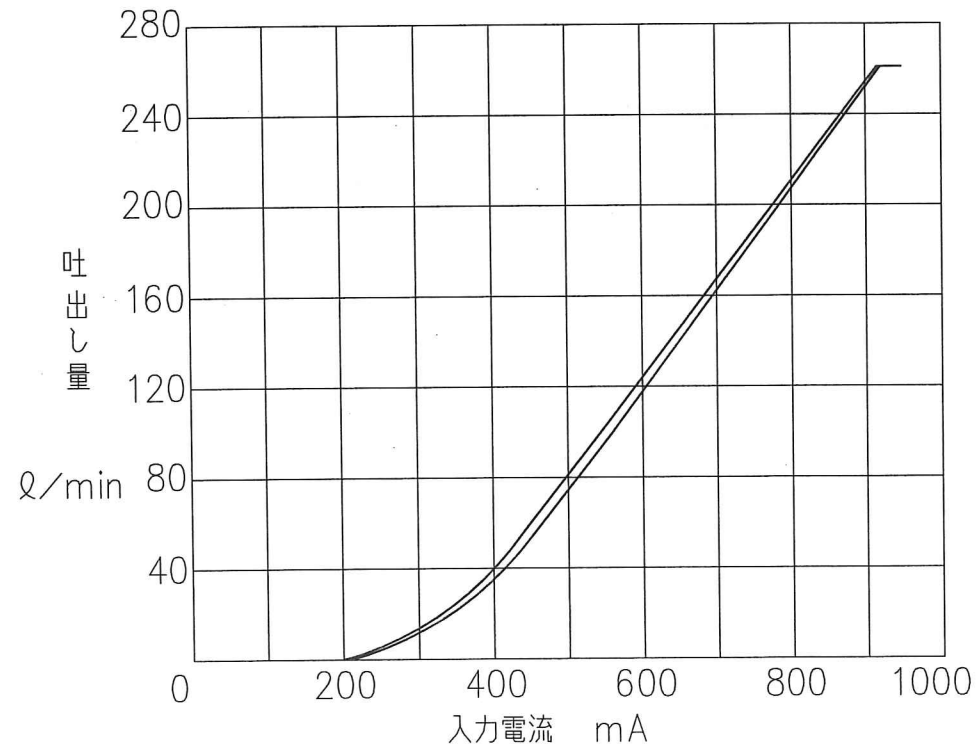


電流-圧力特性 (SOL2)



電流-吐出量特性 (SOL1)

回転速度 1800r/min



モデル番号		A145-※※04※S-60		
理論押しわけ容積		cm ³ /rev	145	
使用圧力	定格 MPa	21		
	最高 MPa	21		
許容回転速度	最低 r/min	600		
	最高 r/min	1800		
流量制御系	吐出量調整範囲	Q/min	2~261	
	吐出量調整可能最低圧力	MPa	1.0	
	ヒステリシス ★2	%	3以下	
	ステップ応答	0→最大斜板	0.21	
	SEC	最大斜板→0	0.15	
圧力制御系	定格電流	mA	920	
	コイル抵抗	Ω (20℃)	10	
	圧力調整範囲	MPa	C	1.5~16
			H	1.5~21
	ステップ応答 ★1	C	3→16→3MPa	0.16 0.18
H		3→21→3MPa	0.17 0.17	
SEC				
ヒステリシス ★2	%		2以下	
定格電流	mA	C	875	
		H	755	
コイル抵抗	Ω (20℃)	10		
パワー増幅器 ★3		AME-D2-1010-※-10		

★1 ステップ応答(動特性)は、回路・使用条件などにより異なります。上表に記載の数値は、下記の条件による測定例です。

負荷側容積：高圧ゴムホース 1 1/4B×2000Q

★2 油研製専用パワー増幅器使用の場合の値です。

★3 パワー増幅器の詳細については、別途発行の「EシリーズカタログPub.JC-1300-5」をご参照ください。

安田 SIGN DATE REVISEMENTS SYM	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	APPROVED	CHECKED	
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		NAME
	FILE NO.	1312D	DWG NO.